

# 富士見市基本構想策定ふじみ市民会議

## 平成22年度第3回全体会 会議録

日時：平成22年9月1日(水)  
午後7時～午後9時  
場所：全員協議会室

### 出欠状況

市民会議委員	25名出席・15名欠席（別添名簿参照）
その他の出席者	副市長
事務局 （政策財務課）	総合政策部長、課長、古屋、吉野 林（教育文化部会担当）、森園（市民協働・自治・財政・行革部会担当） 中島（健康福祉部会担当）、平（まちづくり環境・建設部会担当）

傍聴者	なし
-----	----

### 内 容

#### 1 開 会

政策財務課長

#### 2 あいさつ

副市長あいさつ

川上副委員長あいさつ

#### 3 説明事項

- ・富士見市第5次基本構想前期基本計画案について
- ・今後のスケジュールについて

**事務局** 資料を基に、第1章について、具体的な取組みを中心に説明。

**委 員** 5 ページ「保育環境の充実」の具体的な施策の中で、公立保育所が公設民営も含めて7つある。新しい保育所は問題ないが、耐震化や老朽化対策など必要があるのかどうか、もしあるとすれば、そのあたりの文言も入れた方がよいと思う。

**事務局** 保育所の耐震については昭和56年以前の建物が対象となる。現在、第2保育所について、老朽化の改修と併せて耐震補強工事をしている。また第1保育所についても、空調工事と併せて老朽化に伴う外壁の改修工事を行っている。

**委 員** 14 ページに「学校応援団」という表現があるが、この他スクールガードなどもある。私の区域では「学校支援団」と呼んでいる。これを「一本化」という表現がされている。これは、子どもの見守りも含めた安心安全の大人の組織化と思うが、こうした取

組みは、支援団や応援団のほかに地区社協、町会の活動、また町会とは別枠の防災会、防犯の協力会、PTA の独自の活動もある。全て含めて一本化なのか伺いたい。あまりまとめると、それぞれ自主的に取り組んできた活動が無くなってしまおうという心配もある。そのあたりの説明を伺いたい。

**事務局** 学校応援団は各小学校にあり、地域の人たちに大変お世話になっている。こうした取組みは様々あり、名前は違うが、地域から見れば同じ人が取り組んでいることも多く、そのあたりの整理について、地域別懇談会などでも意見をいただいている。

いずれにしても地域の皆様のご協力がないと成り立たない取組みであり、今後相談をさせていただきながら、一本化に向けた具体的な話は進めていきたい。

**委員** 6 ページの母子保健事業の指標に、11,450 人という数字が並んでいるが、これは、検診者数の上限なのか、予算的に限度の人数なのか、お聞きしたい。

**事務局** 妊婦健診は2年前から行っているが、延べ実績値を入れている。受診可能人数の上限ではない。少子高齢化の中でそれほど大きな伸びがないと想定できる中、現状維持をひとつの目標として捉えたものである。

**委員** 子育て関係で新しい事業、国がやめてしまうにもかかわらず、独自で市が行っていく事業など、いくつか掲載していただけてありがたく思う。一方で、財政的な負担が見えてこない。より分かりやすくするために、そういった部分も示した方が、よりよいと思う。

**事務局** 財政的な裏づけについては、現在、3 ヶ年の実施計画として今後の具体的な取組みについて、事業費も含めて作業をしているところである。本来であれば、今お示ししている主な取組みに事業費が掲載されていることが理想であるが、その点については、現在、現行の制度がそのまま続くという前提で、財政推計についても調整しているところである。個別の事業ごとの経費という形ではないが、トータルで積み上げた歳入・歳出の見込みをお示ししたいと考えている。

**委員** 基礎学力の向上のところで、読む・書く・計算の指標が示されているが、学校教育課にとっては把握しやすい数値と思うが、数値だけ出していると、富士見市の子どもがどの位置にいて、この数値を目標にしているのかが見えてこない。また、学力関係だけで学校教育が評価されることもいかななものかと思う。

**事務局** 基礎学力の向上の指標が分かりづらい点については、もう一度教育委員会に投げかけて、検討したいと考えている。

**委員** 16 ページの学校のトイレの改修だが、これは計画的な改修の数値ということで理解してよいか。中学校の場合、生徒が壊したりすることがある。そういった突発的、緊急的な改修とは別という考えでよいか。

**事務局** こちらに示しているのは、あくまで計画的な改修部分である。

**委員** 11 ページの基礎学力の向上のところであるが、年度ごとに平均達成率が上がるようにしてあることはよいことだと思う。その根拠について伺いたい。

**事務局** 上昇率の根拠については、正確には把握していない。確認する。

**委員** 3 ページに子育て家庭への経済的支援が書いてあるが、少子化のひとつの原因として、育てられないというより、育った後の就職など、将来設計に不安を感じる部分が大きく影響すると思う。健康福祉部会ではそういった議論はなされたのかお聞きしたい。

次に、児童館が青少年の育成の方に書いてあるが、小学生も多く遊んでいると思う。なぜ分けて青少年のほうに書かれているのか。

次に9ページの教育内容について、市独自の教育施策を入れようということだと思うが、現場では、教育に対する時間がとりきれないという現状がある。特に、これから学校教育指針が変わったり、時間が無い中で土曜日が休みということで、今の授業をやっただけでも精一杯という状況である。その辺りについては、どのような議論がなされたのか。

次に12ページ、学校ファームの実施率が33%と書いてあるが、それほどこの取組みが進んでいるのか疑問に思う。この33%の実態、根拠を聞かせていただきたい。

次に14ページ、大学との教育連携と書いてあり、事業は記載されていないが、どういった議論の中でこの施策が出てきたものなのか、お聞かせいただきたい。

最後に16ページ、学校施設・備品の充実だが、通学路など家と学校を結ぶ経路については、どのように考えているのか。危険な箇所が多くあることや、児童生徒たちが逆に一般車両に迷惑を掛けているということもある。通学路に対してどのように考えているのかお聞きしたい。

**事務局** 子どもの将来設計が立てにくいということで、部会でどのような議論があったかということだが、そういった話よりも主に子育て関係の内容が多かったと思う。特に子育てにあたっては、親の孤立化など様々な問題が生じてしまうため、親に対するフォローも必要であるという議論が中心であった。

児童館の関係は、主には小さい子ども、小学生への健全育成という部分でも対応している。さらには、中高生に対して居場所が必要だということも言われてきている。児童というと18歳位まで入ってくるので、比較的年齢の高い中高生の居場所、ボランティア活動に入っていけるような環境づくりなどを検討していくということで、青少年の方に掲げている。

教育の独自施策については、学習指導要領の改正に基づき、英語教育にオリジナル教材を活用するなど、ソフト面での充実を考えている。

学校ファームの数値については、確認したい。

大学との連携については、現状でも教育実習に来てもらっているが、スクールボランティアとしても協力を頂いているところである。こうした大学との連携を通して、子どもにとっても、学生にとっても教育内容を深めていければと考えている。

通学に対する安全性について、必要な交通規制や信号機の設置などは、状況に応じて対応している。また、歩道整備などは、財源の問題も踏まえて、対応していくようになる。道路関係は、第5章のところで施策を掲げている。

**事務局** 資料を基に第2章について説明。

**委員** 24ページ、がん検診について、目標値50%は国の目標なので、その表現を入れた方が分かりやすい。また、この目標数値の根拠は、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮がん・乳がん・前立腺がんであり、これを含めて50%と聞いているが、この考えでよいのか確認したい。県内では、肺がんが受診率で1位である。大腸がんは2位、子宮がんが3位、残りのがんは受診率が低い。こういったことから、前立腺がんの数値も指標に加えるべきと思うが、どうか。

次に 29 ページ、救急医療体制の充実について、現在、東入間医師会が休日夜間診療を行っているが、特に小児救急については小児科医が少なく医師会で苦勞していると聞く。もう少し、市で助成して、スタッフを増やすような取組みができないか伺いたい。

次に 34 ページ、現状と課題のところでは高齢者人口のパーセントが出ているが、年齢を入れた方が分かりやすい。

次に 35 ページ、老人センター利用者数の数値が 28,780 人から 35,000 人になっている。最近では土日の利用が多いが、夏場はあまり使われない。そうした中、実利用として示された数値は達成可能なのか伺いたい。

最後に 45 ページ、自立支援のところでは、就労支援員という表現があり、平成 22 年度中に配置するということだが、配置される人数は何人なのか、それ以降についてはどうなのか伺いたい。

**事務局** がん検診については、5 がんについて掲載している。ご指摘の前立腺がんも含めて国の目標値が立てられているのか確認し、対応を検討する。

救急医療は、初期、第 2 次、第 3 次と 3 体制で対応している。今後の方向としては、「充実していく」としているが、ご指摘のスタッフ増員については、今後こういった部分で充実していくかを医師会等々と協議をしながら進めていくことになる。

高齢化の年齢表示については、ご指摘のとおり表示していく。

老人センターの利用者数については、現在、老朽化しているセンターの大規模な改修を予定している。また、運行経路を見直し、市内循環バスが老人センターまで行きやすくしている。こういった施設整備、アクセス向上等の取組みで、利用促進につなげていきたいと考えている。

就労支援の関係は、非常勤の相談員を 1 名、週 4 日お願いする形で考えている。

**事務局** 資料を基に第 3 章について説明。

**委員** 55 ページ、図書館サービスの充実について伺いたい。図書館協議会の中で、図書館ボランティアの組織化を検討している。人材バンクのように、行政サイドの事業のひとつとして組み込んでいただくと、ボランティアの意識も大きく変わると思う。その点の文言を盛込んでいただきたい。

**事務局** 教育委員会に、本日いただいた意見を伝えて確認したい。それから文面は、お示しの文中、「協働を進める」としているのだから、方向性としてはよいと思う。実際の対応として、図書館ボランティアの組織化について、関係部署と相談したい。

**事務局** 資料を基に第 4 章について説明。

**委員** 72 ページ、産業誘致の推進について、これは外部の人にアピールできるかどうかだと思うが、構想を見通して、そのあたりが不足しているように感じる。

**事務局** 外部へのアピールは、今後、積極的に取り組んでいく考えである。

**委員** 富士見ブランド、企業誘致について、富士見市の PR そのものが不足している。しっかり心掛けていかないと、構想で示した地域活性化の取組みのハードルが高くなり、実現が厳しいものになる。

**事務局** 外部へのアピールは、「富士見のいいところ広め隊」「富士見ブランドの推進」等々第 5 次基本構想前期基本計画案では積極的に施策を盛込んでいる。

**事務局** 資料を基に第 5 章について説明。

**委員** 93 ページ、ごみ処理のところであるが、目標数値のところにごみの量を入れるべきと考える。

次に 94 ページ、公害監視について、ここに書かれている目標値は大気汚染の部分かと思う。水質についての目標値も掲載していただきたい。

**事務局** ごみ処理量の見通しについて可能かどうか担当課と調整したい。また、ここで示した検体に水質が入っているかもあわせて確認したい。

**委員** 89 ページ、緑化の推進の部分で、以前は大きな木に関して、保存木として助成をしていたかと思うが、現在はその制度がなくなってしまったのか確認したい。

**事務局** 現在も助成はある。

**委員** 助成制度があるならば、緑化の推進のところに盛り込むべきでは。

**事務局** 担当課のほうに確認して、対応を検討する。

**委員** 91 ページ、生活環境の保全の不法投棄について、パトロールという表現があるが、幅広い環境という意味で“環境パトロール”を行う必要があるかと思う。

次に 113 ページ、地域防災体制の整備について、一本化、連絡会の立ち上げ等掲載されており、趣旨には賛同するが、現実的には、組織の形態が町会のほか、防災会が独立しているところ、地区社協など様々あり、なかなか難しいと思う。混乱の無いよう取り組んでいただきたい。

**事務局** 環境パトロールを全市的に行うことの必要性は認識している。市で不十分な部分を市民の皆様力を借りながら補っていききたい。防災関係の組織一本化、連絡会の立ち上げについては、地域の実情などにも十分配慮しながら進めていきたい。

**委員** 人とペットの関わりが問題になっている。ペットに関して、どこかに盛り込むことは出来ないか。

**事務局** 今時の課題かと思う。9 月 8 日からパブリックコメントに入るが、期間中も含めて検討をしていきたい。

**委員** 106 ページ、放置自転車について、4 年程前、みずほ台駅西口の違法駐輪に関して、対策協議会を作りたいと市長に要請した。市の道路交通課、西みずほ台の 5 町会、三芳町も大きく関わっているので、三芳町の町会、東武鉄道も含めたものを考えていたが、出来上がったのは、西みずほ台の 5 町会、三芳町役場、道路交通課となった。解消に向けて、施設見学等にも行ったが、この計画に示されている内容は「放置自転車解消に向けた駐輪場整備の検討」と表現されているだけである。この内容では、今後の進展が期待できない。市の考えをお聞きしたい。

**事務局** 駐輪場整備のご提案は受けているが、十分な検討、計画化がされていないため、こういった表現にした。しかし、検討で終わらせるつもりではない。整備という意味も含むものと理解していただきたい。

**事務局** 資料を基に第 6 章について説明。

**委員** 市民自治の推進の部分であるが、市からの一方通行のような印象を受ける。地域にまちづくり協議会を設置するとか、タウンミーティングを行うとか、確かに市政について直接話す場としてはいいが、そういったことが各部会で話し合われていたのか確認したい。

**事務局** 各部会では、それほど議論にはなっていなかったが、分野別懇談会、地域別懇談会などでは意見はあった。

**委員** 124 ページ、町会活動の支援について、地域別懇談会などで、アパートが多く町会に加入してくれないという意見が多かったと思う。加入率の低下などが大きな課題であるが、ここに示された内容では、その答えになっていないと思う。また、加入率の低下による町会費の減収など、財政面での支援などの検討もお願いしたい。

**事務局** 加入率低下の要因は、地域ごとに様々であるため、包括的な表現で記載させてもらっている。具体的な財政面も含めた支援策は、地域ごとのお話などを聞きながら、よりよい取組みを検討していきたい。

**事務局** 今後のスケジュールについて

**副市長** 閉会あいさつ

**閉会**

富士見市基本構想策定ふじみ市民会議 委員名簿

欠席	氏名	備考	所属部会
1	アサノ キミオ 浅野 喜美雄	公募市民	まちづくり環境建設部会
2	イノウエ ユキオ 井上 幸雄	富士見市環境施策推進市民会議	まちづくり環境建設部会
3 欠	オオスギ マリエ 大楢 麻理恵	公募市民	まちづくり環境建設部会
4	オガタ タダオ 尾形 忠男	水谷東地域安心安全ネットワーク	まちづくり環境建設部会
5 欠	サイトウ シゲハル 齊藤 重治	富士見市商工会	まちづくり環境建設部会
6 欠	セキノ エイタロウ 関野 英太郎	富士見市商工会	まちづくり環境建設部会
7	チクサ ヒデノブ 千種 秀信	(財)埼玉県生態系保護協会富士見支部	まちづくり環境建設部会
8	ホンダ アケミ 本多 明美	公募市民	まちづくり環境建設部会
9 欠	ヤギシタ ハルヨシ 柳下 春良	富士見市農業研究団体連絡協議会	まちづくり環境建設部会
10	ヤマダ イサオ 山田 勲	設計事務所代表	まちづくり環境建設部会
11	ヨコタ サダオ 横田 貞男	富士見市商店会連合会	まちづくり環境建設部会
12	アラタ カツヨ 荒田 勝代	NPO法人ふれあいTAP	市民協働・自治・財政・行革部会
13	カワゾエ セイジ 川添 生治	富士見市町会長連合会	市民協働・自治・財政・行革部会
14 欠	ケガサワ カツミ 氣賀澤 克己	富士見市男女共同参画推進会議	市民協働・自治・財政・行革部会
15 欠	サカキハラ ジュン 榎原 淳	元富士見市都市計画マスタープラン策定委員	市民協働・自治・財政・行革部会
16 欠	シマムラ ノボル 島村 昇	(社)東入間青年会議所	市民協働・自治・財政・行革部会
17	タナカ タカシ 田中 栄志	公募市民	市民協働・自治・財政・行革部会
18 欠	ナガシマ タカシ 長島 孝	富士見市行財政改革市民会議	市民協働・自治・財政・行革部会
19	ヒダワ アキヨシ 飛田和 章好	元富士見市行財政改革市民会議	市民協働・自治・財政・行革部会
20	モリタ マサヤ 森田 昌也	富士見市体育指導委員	市民協働・自治・財政・行革部会
21	イガラシ モリオ 五十嵐 守雄	公募市民	健康福祉部会
22 欠	イズミ ノリコ 泉 法子	大学生	健康福祉部会
23 欠	ウスイ エイコ 臼井 英子	NPO法人グループみずほ	健康福祉部会
24	オオシマ レイコ 大島 玲子	富士見市ファミリー・サポート・センター	健康福祉部会
25 欠	カコウ ナオミ 加光 直美	富士見市民生委員児童委員協議会連合会	健康福祉部会
26	カトウ クミコ 加藤 久美子	公募市民	健康福祉部会
27	カワカミ ノブオ 川上 伸夫	水谷東地区社会福祉協議会	健康福祉部会
28	キウチ カズオ 木内 一夫	富士見市身体障害者福祉会	健康福祉部会
29	チャギ ミヨコ 茶木 美代子	富士見市食生活改善推進員協議会	健康福祉部会
30 欠	ホシノ ヨシタカ 星野 好孝	富士見市地域自立支援協議会	健康福祉部会
31	アベ カズシ 阿部 一志	公募市民	教育文化部会
32 欠	イシイ トモコ 石井 智子	大学生	教育文化部会
33	イワタ ヒトシ 岩田 仁	NPO法人ふじみの国際交流センター	教育文化部会
34	タカハシ さかえ 高橋 さかえ	公募市民	教育文化部会
35	テラジマ ナオコ 寺島 直子	富士見市青少年育成推進員の会	教育文化部会
36	ニシヤマ ヒロミ 西山 ひろみ	富士見市PTA連合会	教育文化部会
37	ハネイシ タカヒロ 羽石 貴裕	富士見市地域こども教室運営委員会	教育文化部会
38	フカダ ヒロコ 深田 浩子	富士見市教育相談研究室通室生指導員	教育文化部会
39 欠	ヤマグチ ヤスオ 山口 靖雄	富士見市体育協会	教育文化部会
40 欠	ヨコタ ヤスオ 横田 康男	元富士見市社会教育委員	教育文化部会